

作文・ごみ川柳の募集

- 対象：多摩地域に在住・在勤・在学の小学生以上の方
- 作文のテーマ：わたしがごみを減らす理由
- ごみ川柳：ふと思った“ごみ”のこと
五七五にとらわれず短文で
- 締切：2023年2月15日(水)必着
- 注意：必ず応募規定をご覧ください。
規定はホームページでご覧いただけます。
ホームページ <http://renpou.org/>

※郵送希望の方は事務局までFAXまたはメールで連絡してください。

きりとり線

討論会参加申込書

ふりがな

氏名

住所

(自宅・勤務先)

電話番号

—

—

(自宅・勤務先)

FAX番号

—

—

(自宅・勤務先)

メールアドレス

所属(団体名・学校・勤務先など)

第30回TAMAとことん討論会を知ったきっかけを教えてください。

※ここに記載された個人情報はTAMAとことん討論会の目的以外には使用しません。

討論会参加申込案内

会場参加・オンライン参加のいずれかでお申し込みください。

オンラインの会議システムはJitsi Meetを使用する予定ですが、別途参加申込み者に連絡します。

※オンライン参加をご希望の方

- お申込みはメールでお願いします。

件名：オンライン参加希望

本文：左の申込書の項目を入力

メールアドレスの項目には、当日受信を希望するアドレスを書いてください。(送信したアドレスと同じ場合は不要です)

送信先：tama.recycle@gmail.com

開催日3日前までにメールで返信します。届かない場合は事務局までご連絡ください。

※会場参加をご希望の方

- FAXまたは郵送

左の申込書に必要事項を記入し送信または郵送

- メール：件名を「会場参加希望」とし、本文に左の申込書の項目を入力
参加票を郵送します。

注意

開催時の社会状況により、会場参加ができなくなる場合があります。

その場合は2月20日(月)までにホームページでお知らせすると同時に、申込者に対して連絡します。

※共通事項

- 申込期間：2023年1月4日(水)～2月25日(土)
- 定員：100名(会場50人程度、オンライン50人程度の予定)

お問合せ

第30回 TAMAとことん討論会実行委員会事務局
特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内

電話：070-3340-7006

FAX：042-400-0096

メール：tama.recycle@gmail.com

お問合せはできるだけメールでお願いします

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷物の終わりにリサイクルマークを貼ります。

第30回

TAMAとことん討論会

ごみ問題は自分ごと
～多摩地域の取組みから考える～



2023年3月4日(土)

12時30分～17時

会場：京王聖蹟桜ヶ丘駅SC
アウラホール

- 主催 第30回 TAMAとことん討論会実行委員会
(特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦)
(公益財団法人 東京市町村自治調査会)
- 後援 東京都・東京市長会・東京都町村会・多摩市
多摩ニュータウン環境組合
公益社団法人東京都リサイクル事業協会
一般社団法人廃棄物資源循環学会(予定含む)
- 協力 エコにセンター

開催にあたって

今回で30回となるTAMAとことん討論会。これまでその時々旬の話題をテーマに開催してまいりました。ご参加いただいたみなさまに心から感謝申し上げます。

さて、今回のテーマは「ごみ問題は自分ごと」です。私たちはそれぞれに異なるライフスタイルを持ちますが、ごみを出さずに暮らしている人はいません。そこで、あらためてごみ問題をすべての人が自分自身の問題であると捉えるところから再スタートしたいと考えました。

そうはいつでもどうすれば自分ごととして考え、行動することができるのでしょうか。我慢を重ねるのではなく、楽しみも交えながらの活動ってあるのでしょうか。

こうしたことを考える、行動するためのヒントを提供したいと企画したのが今回の討論会です。

また、作文のテーマは「わたしがごみを減らす理由」とし、あわせてごみ川柳も募集します。日常の暮らしのなかでふと浮かんだことを作文や川柳にさせていただき、多くの人と思いを共有したいと思います。

ごみ問題は自分ごとであると同時にとても重要な社会問題です。私たちの多摩地域をもっともっと住みやすい地域にするためにもこれからどうぞよろしくお願いいたします。

※作文・川柳の募集は2月15日(水)必着です。

詳細はホームページ (<http://renpou.org>) をご覧ください。

第30回 TAMAとことん討論会実行委員会
実行委員長 小石恵子

(特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦代表理事)

プログラム

(敬称略)

12時30分 ●開会のあいさつ

12時40分 ●調査報告

鈴木 隆志

(東京・多摩リサイクル市民連邦会員)

●話題提供1

自治体の政策づくりと市民参加
～多摩地域での試みから～

長野 基

(東京都立大学都市環境学部都市政策科学科准教授)

●話題提供2

市民として
きっかけは大学のサークル

高野 研一

(東京・多摩リサイクル市民連邦会員)

●話題提供3

市民団体として
使った食器の行く末を考える

柏原 君枝

(小金井市消費者団体連絡協議会)

●話題提供4

再資源化事業者団体として
リサイクルに関心を持ってもらうための取組み

紺野 琢生

(東多摩再資源化事業協同組合)

●話題提供5

作文・川柳募集企画の背景および優秀作品発表

江尻 京子

(東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

●ディスカッション

コーディネーター 山本 耕平

(株)ダイナックス都市環境研究所会長
(東京・多摩リサイクル市民連邦会員)

17時 ●閉会のあいさつ

作文・ごみ川柳応募規定



http://www.renpou.org/tokoton30_sakubun.pdf

参加申込送信先



tama.recycle@gmail.com

きりと線

郵便ハガキ

63円切手
を貼って
ください

206-0011

第30回 TAMAとことん討論会実行委員会事務局 行

特定非営利活動法人 東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内

多摩市関戸一十一七グリーンビル六〇二号